令和8年度　道徳教育全体計画

島根県立出雲工業高等学校

諸法規

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 教育諸法規
- 学習指導要領

校　　訓

誠実　　進取　　勤勉

学 校 の 教 育 目 標

人格の完成をめざし、国家及び社会の形成者としての必要な資質を養うとともに、工業に必要な基礎的・基本的な知識、技術、技能を身につけさせることを目標とする。

め ざ す 生 徒 像

地域産業を担う人間性豊かな将来のテクノロジスト

道 徳 教 育 の 重 点 目 標

- 基本的生活習慣を確立し、けじめのある生活態度を養う。
- 自己と他者への理解を深め、人とのつながりを大切にする意識を育てる。
- 広い視野に立ち、目標に向かって主体的に行動していく意欲を高める。

各 学 年 の 重 点 目 標

第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
・望ましい生活習慣を身につけ、ものごとに意欲的に取り組む態度を育てる。 ・自他の人権を尊重し、思いやりのある態度や、規範意識を育てる。	・自ら考え判断し、責任を持って主体的に行動できる力を育てる。 ・相手を思いやり、互いの人格や違いを尊重しあう態度や規範意識を育てる。	・自ら学び考え判断し、物事に主体的に取り組む意欲や態度を育てる。 ・社会の一員として自覚を深め、より良い集団や社会を形成していくための規範意識や公徳心を育てる。

各教科・科

国語	・様々なものの見方、考え方に触れ、自らの生き方について考察を深める。また、語彙を増やし、表現方法を学ぶことで適切な自己表現ができるようにする。
地歴公民	・地理や歴史、現代社会に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決する態度を養う。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間としての在り方生き方についての自覚を養う。
数学	・数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、創造性を培うとともに、積極的に活用する態度を育成する。
理科	・自然現象の科学的な理解を通して、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る。
保体	・心身の健全な発達の必要性を認識させるとともに、生涯にわたって健康を保持増進する意識、態度を育成する。
音楽	・音楽の幅広い活動を通して、音楽の多様性を理解し、情操豊かな生徒を育てる。
外国語	・様々なコミュニケーション活動を通して、お互いの意見や表現を尊重できる態度を育てる。
家庭	・家庭や地域社会の一員としての自覚を持ち、誰もが協力して主体的に生活を創造する能力と実践的な態度を育成する。
工業	・現代社会における工業の意義や役割を理解させ、工業技術に求められる社会的な倫理観を育成する。 ・実習や課題研究を通して、お互いを尊重する精神を養うとともに、インターンシップ等の体験により地域を理解し、社会の一員としての素養を身につけさせる。
情報	・情報モラルについての正しい認識を育て、工業人として必要とされる情報に関する基本的な知識と技能を習得させる。

特　別　活　動

社会において自立的に生きるために、社会の一員としての自己の生き方を探求させる。

【ホームルーム活動】
- 規範意識、倫理観を育成する。
  新入生指導（学校生活全般について）、携帯電話とマナー
- 心の健全化と生命に対する畏敬の念を培う。
  心と性の相談事業、薬物乱用防止講話
- 人権意識（人間尊重の精神）を養う。
  身近な人権問題、人権教育講演会

【生徒会活動】
- 公共の精神を尊ぶ姿勢を養う。生徒会主催の奉仕活動

【学校行事】
- 公共の精神を尊び、道徳的習慣を身につけさせる。
  大掃除、式典への参加（入学式、始業式、終業式、卒業式）

キ ャ リ ア 教 育

「基礎的・汎用的能力」を育成する。
－社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力－

【人間関係形成・社会形成能力】
- 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝える。
- 自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成する。

【自己理解・自己管理能力】
- 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動する。
- 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする。

【課題対応能力】
- 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決する。

【キャリアプランニング能力】
- 「学ぶこと・働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「学ぶこと・働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく。

総合的な探究の時間 （ 課　題　研　究 ）

問題解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方、生き方を考えることができるようにする。
- 活動を通して、社会に関心をもち、自己のあるべき姿を考えさせる。
- グループ活動をとおして、人間関係を構築する力を養う。
- 主体的、創造的に物事に取り組む姿勢を養う。

「しまねのふるまい」に係る取組

他者を思いやり、円滑なコミュニケーションの基本となる気持ちの良いあいさつを励行する。

生 徒 の 実 態

- 誠実に物事に取り組むことができ、素直に指導に従う生徒が多い。
- 部活動に対して熱心に取り組んでいる。
- 専門分野に対する興味関心が高く、資格取得に向けても前向きに取り組んでいる。
- 基本的生活習慣が確立されていない生徒もおり、けじめのない言動がみられることがある。

保護者の願い

- 進路に関して自己理解を深め、希望する進路を決定する。
- 充実した高校生活を送る。

地 域 の 思 い

- 地域を支える人材を送り出しているという点で地元企業からの信頼は厚い。
- 通学マナーなどに対して、苦情が寄せられることがある。

生 徒 指 導

- 保護者や地域関係諸機関と連携し、集団の中での規範意識やマナー、安全に対する意識の醸成を図る。

家庭との連携

- PTA行事などを通じて道徳教育の目標の周知を図る。
- クラス通信などに道徳的内容を盛り込み、家庭での道徳心の啓発に努める。

地域との連携

- 各種広報誌の発行で学校の教育活動を伝える。
- 保護者・地域の方々の学校行事への積極的参加を呼びかけ、開かれた学校づくりを実践する。